

第 30 回 消滅可能性自治体

今年 4 月に発表された人口戦略会議による令和 6 年度・地方自治体「持続可能性」分析レポートにより、全国 7 4 4 自治体が「消滅可能性自治体」とされました。松崎町もその中に含まれていました。少子高齢化による人口減少は、今や日本全体の話であり、将来的には、明治時代と変わらない 5 0 0 0 万人になると推測されています。

地方の人口減少は、若年層の東京一極集中により輪をかけて進んでいます。日本は昔から地方と都市をバランス良く混ぜて発展してきたはずです。江戸時代には参勤交代、明治時代には公立の高校や大学を東京だけでなく積極的に地方に創立してきました（旧帝大と呼ばれる大学など）。

人口減少が叫ばれるこの時代だからこそ、地方が活力を取り戻し、高齢者も若者も活躍できる地域づくりが求められています。人を外から呼ぶためには、まずそこに住む自分たちがその価値に気づき、誇りを持って生きていることが、松崎町の魅力の核となります。

そこにしかない歴史や文化、豊かな自然も大切ですが、松崎が何よりも誇れる魅力は、皆さま方が生き生きと過ごしている姿です。持続可能なまちを、みんなで力を合わせ創っていきましょう。